



ふたつい

能代市立二ツ井小学校
ふたついの子と大好き、ふれあい支える子
のしく学び、よく考える子
よい心で、やさしい子
いつもすこやか、元気な子



校 是：みんな仲良し 夢ある子ども

R 8. 9. 15 (火) No.10

文責：中田

元気に学校生活を送るために

朝夕の涼しさに秋を感じるようになりました。これからは、さまざまな感染症が流行する季節でもあります。学校では、子どもたちが元気に過ごせるよう、手洗いや換気、教室内の環境に気を配りながら、感染症の予防に取り組んでいます。子どもたちには、外で遊んだ後や給食の前などは、丁寧に手を洗うこと、咳やくしゃみが出るときには周囲への配慮をすることなどを呼びかけています。感染症の予防には、日頃からの健康管理も大切です。十分な睡眠、バランスのよい食事、適度な運動を心がけ、規則正しい生活リズムを整えていきたいものです。

また、発熱や咳、のどの痛み、だるさなど、いつもと違う症状が見られる場合には、無理をして登校せず、家庭でゆっくり休むことも大切です。子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、学校と家庭が一緒になって健康管理に努めていきたいと思えます。

「元気に登校し、元気に学び、元気に帰る」。そんな毎日を積み重ねていけるよう、一人一人の健康を大切にしていきたいと思います。

水上安全法講習（着衣泳）

今年度も水泳授業の終わりに、日本赤十字社秋田支部の赤十字指導員の方々を講師にお招きして5・6年生が着衣泳を行いました。海や川で事故が起きて意図せず水中に投げ出されたときに、どう自分の命を守ればよいのかを学習しました。着衣での水泳の難しさを体感し、すぐに岸に戻ることや、浮いて体力を消耗せずに救助を待つことの大切さを学びました。



卒業生が先生として母校へ

本校の卒業生2名（成田さんと鈴木さん）が、教育実習生として母校に戻ってきました。ついこの間まで本校で学んでいた卒業生が、今度は「先生」として教壇に立つ姿に、時の流れを感じます。実習中は子どもたちと話したり、一緒に活動したりしながら、教師という仕事について一生懸命学んでいました。

子どもたちにとっても、先輩が先生として戻ってきたことは、とても新鮮な経験だったことでしょう。休み時間には一緒に遊んだり、楽しそうに話をしたりする姿も見られ、校内には普段とは少し違った温かな雰囲気広がっていました。

「教えてもらう側」だった卒業生が、「教える側」として母校に帰ってきた今回の教育実習。二人にとっても、そして本校にとっても、うれしい時間となりました。まもなく実習期間を終えますが、ここでの経験をこれからの学びに生かし、将来、すてきな先生として活躍してくれることを願っています。



イトク5ADAY（ファイブ・ア・デイ）

10日（木）、3年生が社会科の「店ではたらく人」の学習でイトク5ADAYを行いました。スーパーマーケットではたらく人は、たくさんのお客さんに来てもらうためにどのような工夫をしているのかを考えました。

はじめに教室で、一日に5種類の野菜（350g）をとりましょうという「5ADAY」のことや、食品群や栄養バランスについてお話をしてもらいました。次に、いとく二ツ井ショッピングセンターに行って売り場やバックヤードを見学しました。

子どもたちは店長さんのお話を真剣に聞いて、メモをとっていました。普段は見る事ができないバックヤードも見学させていただき、たくさんの工夫を知ることができました。

